

10月の新着本

10月10日(土) 貸し出し開始

【一般図書】

逆ソクラテス	伊坂 幸太郎	逆境にもめげず簡単ではない現実に立ち向かい非日常的な出来事に巻き込まれながらもアンハッピーな展開を乗り越え僕たちは逆転する!無上の短編5編(書き下ろし3編)を収録。
雲を紡ぐ	伊吹 有喜	壊れかけた家族は、もう一度、ひとつになれるのか?羊毛を手仕事で染め、紡ぎ、織りあげられた「時を越える布」ホームスパンをめぐる親子三代の心の糸の物語。
晴れの日散歩	角田 光代	京都の卵サンドのおいしさに震え、ドラマロスになり、レモンサワーをこよなく愛す。年を重ねても変わらない、角田光代のかけがえのない日常。オレンジページ人気エッセイ第四弾!
勝間式超ロジカル料理	勝間 和代	料理の基本的な法則と現代のテクノロジーを調べ尽くし、研究し、超効率化した「勝間式超ロジカル料理」
つげ義春大全第16巻 ねじ式 ゲンセンカン主人	つげ 義春	つげ義春の代表作『ねじ式』、『ほんやら洞のべんさん』『ゲンセンカン主人』『やなぎ屋主人』『リアリズムの宿』等、60年代後半から70年代前半に発表された伝説の作品、15編を収録。
破局	遠野 遥	私を阻むものは、私自身にほかならない。ラグビー、筋トレ、恋とセックス—ふたりの女を行き来するいびつなキャンパスライフ。28歳の鬼才が放つ、新時代の虚無。第163回芥川賞受賞。
流浪の月	【スタッフおすすめ本】 凧良 ゆう	「誘拐事件」の被害者と加害者、そう世間から押された烙印。『事実と真実は違う』事実なんてものではなく、ただそれぞれの解釈があるだけ…再会すべきではなかったかもしれない男女がもう一度出会ったとき、運命は周囲の人を巻き込みながら疾走を始める。2020年本屋大賞受賞作
少年と犬	馳 星周	傷つき、悩み、惑う人びとに寄り添っていたのは、一匹の犬だった…。6編のエピソードで構成される、犬を愛するすべての人に捧げる感涙作! 第163回直木賞受賞作
〈あの絵〉のまえで	原田 マハ	どこかの街の美術館で小さな奇跡が今日も、きっと起こっている。人生の脇道に佇む人々が“あの絵”と出会い再び歩き出す姿を描く。アート小説の名手による極上の小説集。
東京ホロウアウト	福田 和代	オリンピック開催間近の東京で、道路を狙ったテロが発生! 分断される道路、届かない食料、回収されないゴミ物流のプロ、長距離トラックドライバーたちが東京を救うため立ち上がる!! 物流崩壊の危機をリアルに描いたサスペンス
夜のアポロン	皆川 博子	濃厚な悪意の闇の中にきらめく、刹那の“生”と魅惑の“謎”—初期作を中心に書籍未収録の16篇を収めた、青春、犯罪、時代、暗号…バラエティ豊かな傑作ミステリ短篇集。
猫を棄てる 父親について語るとき	村上 春樹	時が忘れさせるものがあり、そして時が呼び起こすものがある。ある夏の日、僕は父親と一緒に猫を海岸に棄てて行った。歴史は過去のものではない。このことはいつか書かなくてはと、長いあいだ思っていた。—村上文学のあるルーツ。
純喫茶パオーン	椰月 美智子	創業50年(おおよそ)の喫茶店「純喫茶パオーン」。看板メニューはおじいちゃんの「特製ミルクケーキ」おばあちゃんの「魔法のナポリタン」! その店主の孫である「ぼく」が小学5年・中学1年・大学1年の頃にそれぞれ出会う不思議な事件と、人生のちょっとした真実。

☆ 児童図書・絵本は、別途掲示しています。

なお、11月新着本は貸出日(11月14日)から貸出いたします。